

超微粒子高炉スラグ配合  
 繊維補強耐硫酸性モルタル

 薄塗り  
 タイプ

# テクノバリア TB-2

## 耐硫酸性が必要なコンクリート下地の不陸調整等に！

超微粒子高炉スラグ系特殊粉末配合により高い耐硫酸性を実現。硫酸による腐食環境下でも優れた耐久性を発揮し、3~5mm厚の薄塗り施工が行なえ、コテでの作業性にも優れている為、容易に平滑な仕上がりを得られ、硬化後のひび割れも少ない超微粒子高炉スラグ配合繊維補強耐硫酸性モルタルです。

### 特長

#### ◆ 抜群の作業性

付着性に優れており、3~5mmの薄塗り施工が可能でコテ作業にも優れているため容易に平滑な仕上がりが得られます。

#### ◆ 優れた耐硫酸性・耐久性

超微粒子高炉スラグ系特殊粉末配合により耐硫酸性に優れ、硫酸による腐食環境下でも優れた耐久性を示します。

#### ◆ ひび割れ抑制

硬化後のひび割れの発生が少なく、硬化物が密実のため耐久性に優れております。

### 用途

- ▶ 排水処理施設等での腐食環境下のコンクリート劣化が激しい箇所での補修
- ▶ 隧道コンクリートの劣化が激しい箇所の補修
- ▶ 海水侵食など塩害被災構造物の劣化が激しい箇所の補修

### 荷姿



テクノバリア TB-2  
20kg/防湿袋



TB-2強化液  
18kg/缶



テックス7 (アクリル樹脂系吸水防止材)  
1kg・5kg/ポリ容器 入り 18kg/缶



### 材料使用量

#### ○テクノバリア TB-2

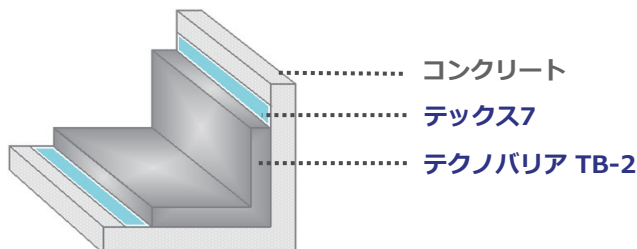
1袋当たりの標準練り上がり量			
粉体(kg)	強化液(kg)	水(ℓ)	練り上がり量(ℓ)
20	1.4	2.8	約11.6
1㎡当たりの使用量			
粉体(kg)	強化液(kg)	水(ℓ)	
1740	121.8	243.6	

材料使用量(kg/㎡)	標準塗厚(3~5mm)	
	粉体	強化液
3mm	5.22	0.37
	4mm	6.96
	5mm	8.70

#### ○テックス7 (アクリル樹脂系吸水防止材)

下地の状態	平滑面	研り面
塗布量(㎡)	0.1kg	0.2kg
1kg	10㎡	5㎡
5kg	50㎡	25㎡
18kg	180㎡	90㎡

### 標準施工図



## 物性値・性能

### ○一般物性

試験項目		品質規格		試験結果	試験方法
圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )	材齢3日	25以上	適合	JIS R 5201	
	材齢28日	45以上	適合		
曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )	材齢3日	3.0以上	適合	JIS R 5201	
	材齢28日	7.0以上	適合		
接着性 (N/mm <sup>2</sup> )		材齢28日	1.5以上	適合	建研式接着試験器による
耐硫酸性	硫酸浸透深さ (mm)	28日浸漬後	3.0以下	適合	5%硫酸溶液浸漬、供試体切断後 フェノールフタレイン1%溶液で判定
	硫酸浸漬重量変化率 (%)	28日浸漬後	±10.0以内	適合	5%硫酸溶液浸漬、重量変化率を測定

## 比較試験



【左側】テクノバリア TB-2

【右側】普通モルタル(表面モルタル部分が消失し、骨材が露出)

※) 5%硫酸水溶液28日間浸漬後の状態(試験液は1週間毎に全部交換)

## 使用方法

### ①下地処理およびプライマー(または接着材)の塗布

下地コンクリートの表面は、モルタルの付着を妨げる脆弱部・ホコリ等を除去して下さい。  
吸水防止の為、テックス7を0.1~0.2kg/m<sup>2</sup>で塗布して下さい。

### ②練り混ぜ

TB-2強化液1.4kg、水2.8kgを混合した後、ハンドミキサー等で攪拌しながら徐々に粉体を投入し、均一になるまで練り混ぜて下さい。  
練り混ぜ水量は、施工時の気温・施工法等によって変化します。1袋(20kg)当り4.0~4.5kg(3倍液)の範囲で調整して下さい。

### ③塗付け、施工

テックス7乾燥後(目安:3~24時間)、テクノバリアTB-2を吹き付け・金ゴテ等で所定の厚さになるよう塗り付けて下さい。

### ●夏季及び直射日光の当たる場所での施工について

直射日光により下地が温度上昇している場合は、散水等により躯体温度を下げて下さい。また、施工後養生中は急激な乾燥によるドライアウトを防ぐためにシート養生等の処置を行って下さい。

### 使用上の注意

1. 粉体の取り扱いにはセメントに準じて行って下さい。
2. 破袋製品や開封後放置した製品を使用しないで下さい。
3. 練り混ぜ水には水道水を使用して下さい。
4. 他材料を添加しないで下さい。

※取り扱いに関する詳細な注意事項は、安全データシート(SDS)をご参照ください。

### ●本資料の技術データについて

- ・本資料の技術データは当社の試験・研究に基づいたもので、施工条件などにより異なる結果が生じることがあります。
- ・本資料の記載事項は予告なしに変更する場合がございますので、ご了承下さい。
- ・材料、施工でのご不明点がありましたら、当社営業担当へご相談下さい。

【総販売元】



<https://www.jikkou.co.jp/>

■本社 / 〒651-2116 神戸市西区南別府1丁目14番6号  
TEL : 078-974-1141 FAX : 078-974-7786

■東京支店 / TEL : 03-6803-2287 FAX : 03-6803-2297 ■東北営業所 / TEL : 022-796-5312 FAX : 022-796-5313  
■横浜営業所 / TEL : 045-307-4817 FAX : 045-307-4818 ■中部営業所 / TEL : 052-433-1350 FAX : 052-433-1351  
■大阪営業所 / TEL : 06-6486-9797 FAX : 06-6486-9798 ■中国営業所 / TEL : 082-831-7505 FAX : 082-831-7506  
■四国営業所 / TEL : 089-905-3833 FAX : 089-905-3834 ■九州営業所 / TEL : 092-512-2248 FAX : 092-541-6331  
■技術研究所 / TEL : 078-920-1115 FAX : 078-920-1116

【製造元】



High-Quality & Trust

テクノスジャパン株式会社

【代理店】

R5.4

※ここに記載された事項は、標準的な試験方法に準拠した弊社の実験データをもとつくものではありますが、多岐にわたる条件下での実績の現場結果を確実に保証するものではありません。  
※万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本製品をご使用いただく場合には、ご使用者側にて調査検討くださいますようお願い致します。